

令和2年第2回（3月）定例会 一般質問

議員名：飯島 正義

質問事項1：越谷吉川線に手押し信号機の早期設置を

質問要旨：

中央中学校南側、栄町1327地先の越谷吉川線に横断歩道と信号機の設置が計画をされていますが、開通後2年近く経過した今も封鎖されたままになっています。

市民の方からは、「なぜいまだ信号機が付かないのか」「整骨院に行くにも大変だ」と強い声が寄せられています。市も吉川警察に信号機設置を要望しているとのことですが、現状の認識と今後の信号機設置の見通しについてお伺いします。

答弁を求める者：市長・担当部長

---

質問事項2：三輪野江産業振興地域に於ける資材置場の問題

質問要旨：

三輪野江地域に於いては、近年様々な事業所と同時に資材置場が乱立している状況です。

①資材置場の件数と業種・面積・産業廃棄物の扱いの有無を伺います。

②2019年12月31日から2020年1月1日未明まで発生した三輪野江3929地先で発生火災の原因について伺います。

③三輪野江2351番地の資材置場に於いて鉄筋、鉄骨の切断及び運搬がされています。

忙しい時には、早朝から深夜2時頃までの操業による騒音被害が起きています。市の対応経過と今後の方向性についてお伺いします。

答弁を求める者：市長・担当部長

---

質問事項3：補聴器購入の公的支援で高齢者のいきいきした生活の保障を

質問要旨：

補聴器の公的支援が広がっています。高齢者の難聴により社会からの隔絶、食事機能の低下、体力低下などを招き、要介護状態を引き起こしやすいと言われています。

「補聴器が高い」「聞こえにくいとでかけるのもおっくう」「電池代もばかにならない」との声が寄せられています。補聴器の購入費、交換電池代への公的助成が必要と考えます。見解を伺います。

答弁を求める者：市長・担当部長

---

質問事項4：選挙の投票率を上げるには

質問要旨：

今回はじめて選挙をされる側の立場に立ち、投票率の低さに改めて驚きました。

39.28%という投票率、前回選挙よりも更に低下している事実についてどのように考えていますか。選挙に興味をもってもらうためにどうすれば良いと考えていますか。見解を伺います。

答弁を求める者：市長・担当部長

令和2年第2回(3月)定例会 一般質問

担 当：都市整備部道路公園課 内線2019

議 員 名：飯島 正義

質問事項：越谷吉川線に手押し信号機の早期設置を

質問要旨：中央中学校南側、栄町1327地先の越谷吉川線に横断歩道と信号機の設置が計画されていますが開通後2年近く経過した今も封鎖されたままになっています。市民の方からは、「なぜいまだに信号機が付かないのか」「整骨院に行くのも大変だ」と強い声が寄せられております。市も吉川警察署に信号機設置の要望をしているとのことですが、現状に認識と今後の信号機設置の見通しは。

口 述 案：

1点目の「越谷吉川線の手押し信号機の早期設置」についてでございますが、市では、当該箇所の都市計画道路越谷吉川線の開通以前より、押しボタン式信号機の必要性を認識し、設置要望書を吉川警察署へ提出しております。

また、平成30年4月の開通後においても、吉川警察署と協議を重ねながら、設置要望書の提出をしてきたところでございます。

現時点での吉川警察署の見解といたしましては、県道加藤平沼線を含めた周辺の交通状況や都市計画道路越谷吉川線の工事の進捗状況から新たに信号機を設置することは難しいとのことであり、設置の見通しは立っていないところでございます。

市といたしましては、引き続き、機会を捉えながら、吉川警察署と協議や要望を行ってまいります。

令和2年第2回(3月)定例会 一般質問

担 当 : 都市整備部都市計画課 内線2015

議 員 名 : 飯島 正義

質問事項 : 三輪野江産業振興地域に於ける資材置場の問題

質問要旨 : 三輪野江地域に於いては近年様々な事業所と同時に資材置場が乱立している状況です。

①資材置場の件数と業種・面積・産業廃棄物の扱いの有無を伺います。

(「産業廃棄物の扱いの有無」は、環境課となります。)

口 述 案 :

2点目の「三輪野江産業振興地域における資材置場の問題」についてのうち、1番目の「資材置場の件数と業種・面積」についてでございますが、平成26年度から平成30年度までの5年間で、事前協議の締結件数は10件、面積は、約1.8ヘクタールで、建設資材などの置場として利用されている状況であると把握しております。

令和2年第2回(3月)定例会 一般質問

担 当：市民生活部環境課 内線2047

議 員 名：飯島正義

質問事項：三輪野江産業振興地域に於ける資材置場の問題

質問要旨：三輪野江地域に於いては近年様々な事業所と同時に資材置場が乱立している状況です。

- ①資材置場の件数と業種・面積・産業廃棄物の扱いの有無を伺います。
- ②2019年12月31日から2020年1月1日未明まで発生した三輪野江3929地先で発生火災の原因について伺います。
- ③三輪野江2351番地の資材置場に於いて鉄筋、鉄骨の切断及び運搬がされています。忙しい時には、早朝から深夜2時頃までの操業による騒音被害が起きています。市の対応経過と今後の方向性についてお伺いします。

口 述 案：

2点目の「三輪野江産業振興地域に於ける資材置場の問題」についてのうち、1番目の「資材置場の件数と業種・面積・産業廃棄物の扱いの有無」のうち、「産業廃棄物の扱いの有無」についてでございますが、産業廃棄物の扱いの有無につきましては、埼玉県内における産業廃棄物処理業の許可権者である埼玉県が公表しております情報によれば、三輪野江の産業まちづくり地域に、産業廃棄物処理業の許可を受けているのは1事業者でございます。

次に2番目の「三輪野江地内3929地先での火災の発生原因」についてでございますが、火災事案を所管する吉川松伏消防組合消防本部の情報によりますと、出火元は東側隣地である「三輪野江3917番地先」であり、原因につきましては、調査を行った結果、特定に至らなかったと伺っております。

次に、3番目の「三輪野江2351番地の資材置き場における市の対応経過と今後の方向性」についてでございますが、この現場は、平成29年3月頃に都市計画法違反の状況の中、鉄骨加工の事業者が事業を開始しており、平成30年1月29日に初めて騒音の相談が担当課に寄せられ、立ち入り調査を行うとともに騒音対策の指導を行いました。その後、現場確認とともに改善指導を継続しているところでございますが、早朝、夜間の作業における作業騒音について近隣の方から相談を受けることがあり、今年に入

ってからも、2月3日の相談を機に作業場に立ち入りしたところ、深夜に及ぶ作業を認めため、厳しく指導したところでございます。

今後につきましては、作業時間の徹底を引き続き指導するとともに、事業者の防音対策の実施にあたりましては、開発行為を所管する都市整備部とも調整を図りながら対応してまいります。

令和2年第2回（3月）定例会 一般質問

担 当：健康長寿部長寿支援課 内線1519

議 員 名：飯島正義

質問事項：補聴器購入の公的支援で高齢者のいきいきした生活の保障を

質問要旨：補聴器の公的支援が広がっています。高齢者の難聴により社会からの隔絶、食事機能の低下、体力低下などを招き、要介護状態を引き起こしやすいと言われます。「補聴器が高い」「聞こえにくいことでかけるのもおっくう」「電池代もばかにならない」との声が寄せられています。補聴器の購入費、交換電池代への公的助成が必要と考えます。見解を伺います。

口 述 案：

3点目の「補聴器購入の公的支援で高齢者のいきいきした生活の保障を」についてでございますが、国が補聴器による認知機能低下の予防効果を検証するための研究を行っておりますので、その動向を見守ってまいります。

令和2年第2回（3月）定例会 一般質問

担 当：選挙管理委員会 内線2220

議 員 名：飯島正義

質問事項：選挙の投票率を上げるには

質問要旨：今回初めて選挙をされる側の立場に立ち、投票率の低さに改めて驚きました。

39.28%という投票率、前回選挙よりも更に低下している事実についてどのように考えていますか。選挙に興味をもってもらうためにはどうすれば良いと考えていますか。見解を伺います。

口 述 案：

4点目の「選挙の投票率を上げるには」についてでございますが、1月26日の吉川市議会議員選挙にあたりましては、投票率が低い傾向であることや平成31年統一地方選挙の市町村議会議員の投票率が全国平均46.07%に対し、埼玉県平均は41.10%と低い状況であったこと等を踏まえ、啓発活動の拡充と投票環境の更なる向上を課題と捉え、「親子で選挙へGo!スタンプラリー」の実施や、吉川美南駅前にイオンタウン期日前投票所の新設等の対策を講じたところでございます。結果につきましては、前回の市議会議員選挙より3.41%低い、39.28%でございました。

「事実についてどのように考えるか」についてでございますが、選挙管理委員会では、今回の結果について、前回選挙執行時には選挙権が20歳までであったことや、また、年代別の投票率が全体的に前回より減少している中、一番投票率の高い70歳代の60.84%に対し、一番低い20歳代が17.47%であったこと等から、若い世代の選挙への関心が低いことが、その主な要因の一つと考えております。

次に、「選挙に興味を持ってもらうためにはどうすれば良いと考えているか、その見解」についてでございますが、選挙管理委員会といたしましては、選挙に興味を持っていただくため、機会を捉え、吉川美南高等学校の生徒による選挙事務体験等をはじめ、関係機関と連携した啓発活動を通じて、取り組んでまいりました。

今後におきましても、国・県の動向や他市の事例等を注視しながら、投票率の向上に繋がるよう、取り組んでまいりたいと考えております。